

土木と社会セミナー

第一回（5月13日）@西講義棟3階工学部第3講義室

「八代海再生に向けた官学民パートナーシップ」

ゲスト：
上久保祐志さん / 熊本高専 建築社会デザイン工学科 准教授
やつしろ里海ネット 代表



熊本県南西部に位置する八代海は、豊かな海産資源・観光資源を持つ海域である一方、漂流漂着ゴミの増加、底質環境の悪化、赤潮の多発化、生物多様性の損失、藻場の減少など様々な環境悪化が進行しつつあると言われています。そのような現状の中、沿岸域住民や漁業者によって様々な環境活動が行われていますが、更に学識経験者や行政関係者が加わることで、課題解決に向けた活動を昇華させた協働体制を形成し、八代海を再生していくことを目的として活動しています。今回は、これらの活動の「これまで」と「これから」について、お話をしたいと思います。

第五回（6月10日）@西講義棟3階工学部第3講義室

「地方創生 ICTが変える未来と人間力」

ゲスト：
明石信宏さん / 西日本電信電話株式会社長崎支店
ビジネス営業部 S E部門長



IoT、AI、SNS…我々の生活にICTは不可欠な存在になってしましました。手軽に様々な情報やサービスがいつどこでも手元で操作できるようになりました。しかし、それを支えているのは先端技術だけではなく、人間力も大きく関わっています。自然環境との接点でICTを地球にフィットさせ、我々の生活を便利にしてくれるのは人間です。地方創生が呼ばれる今、ICTの存在意義は間違いなく高まっていますが、人間の生活・経済活動のほとんどをICTで置き換えるわけにはいきません。人間力とのバランスが大切です。NTTグループが皆さんの生活にどのように関わっているか？をお伝えすることができれば、と思っています。

第二回（5月20日）@西講義棟3階工学部第3講義室

「水辺の生き物を守っていくために必要なこと」

ゲスト：
中島 淳さん / 福岡県保健環境研究所 研究員



現在、人間活動と生物多様性保全の両立をどのようにして図っていくのかは、世界的にも大きな課題になっています。特に河川を中心とした湿地帯には多種多様な生き物が生息しており生態系保全上とても重要な場所ですが、その一方で治水や利水を目的とした人為的な環境改善が激しい場所もあります。そのため、特に身近な湿地帯で暮らす生き物の多くは絶滅が危惧される状況に陥っています。そこで本講義では九州の河川とそこに暮らす生き物の特徴を解説するとともに、現在、それらの生き物を守っていくためにどのようなことが実際に行われているのかを紹介します。私たちの身近で暮らす湿地帯の生き物のことについて、少しでも興味関心を持ってもらえばと思います。

第六回（6月17日）@西講義棟3階工学部第3講義室

「国際貢献を志して」

ゲスト：
北野恭央さん / 外務省 軍縮不拡散・科学部 軍備管理軍縮課

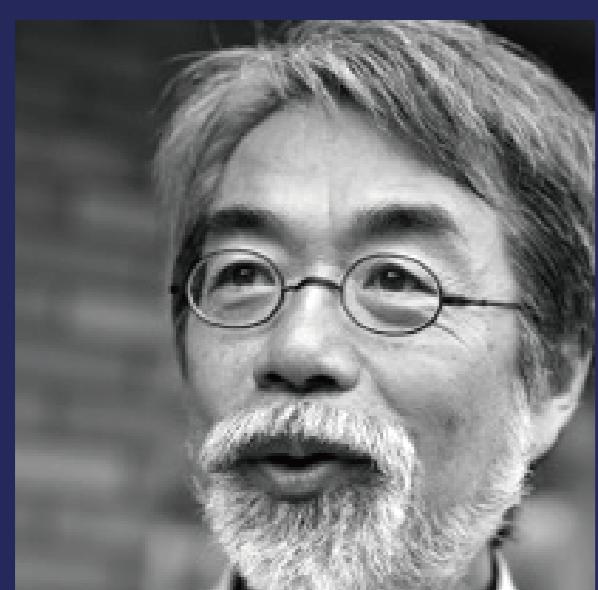


私は、建築・土木系の学部・大学院を卒業し、建設関連を含む複数の民間企業で勤務しつつ、日本とアメリカのNGOの理事として海外で事業を担当し、現在は外務省で勤務しています。紛争中のアフガニスタンの日本大使館で経済協力を担当し、世銀や国連機関と協力してアフガニスタンの国作りを支援。その後、東京の外務省で、水産関連条約に関する交渉やアフガニスタンの政治や援助政策を担当し、現在は、核兵器不拡散条約の担当として核軍縮交渉に関わっています。これまでの経験から思ったことや得たことなどお伝えしたいと思います。

第三回（5月27日）@西講義棟3階工学部第3講義室

「『建築』からみた、まちづくり・風景づくり」

ゲスト：
鮎川 透さん / 環・設計工房 代表



私は「建築」に軸足を置き、施設の設計やまちづくりに携わってきました。広大な自然とともに、人の活動が創り出す構造物が風景を構成することは言うまでもありません。そこでは建築も土木も境はないはずですが、日本の近代化の過程ではその歩みを異にしてきたように感じます。そのような視点で「建築」の方から、その足跡を振り返るとともに、自分の仕事を通じてこれからの「ものづくり」において留意したいことをお話ししたいと思います。

第七回（7月1日）@西講義棟3階工学部第3講義室

「アニメで土木を語る広報活動『ファンタジー営業部』」

ゲスト：
岩坂照之さん / 前田建設工業株式会社 CSR・環境部長



「建設に興味の無い方に建設現場の中身を伝える」をコンセプトに始まったWebコンテンツ「前田建設ファンタジー営業部」。アニメの中の建造物を本当に実現したらどうなるかを公開するための「異業種コラボ手法」がオープンイノベーションやCSV経営のヒントとして注目されている現状を解説します。

第四回（6月3日）@西講義棟3階工学部第3講義室

「本流ではないけれど土木に関わる」

ゲスト：
眞鍋政彦さん / 日経BP社日経コンストラクション編集



元市役所職員、そして今は業界と深く関わりのある土木雑誌の記者…これが私の肩書きです。プロジェクトや事故、談合問題、最新技術などのテーマについて、日々取材に励んでいます。最近は、熊本地震で被災地を周りました。土木の本流と「傍流」の両方を知る立場として、土木に少しでも素養のある人が業界以外で活躍する意義などについてお話をしたいと思います。

第八回（7月8日）@西講義棟3階工学部第3講義室

「土木出身の経済調査マンがみてきた九州の姿」

ゲスト：
八尋和郎さん / 九州経済調査協会
事業開発部長兼BIZCOLI館長



土木と関係のないシンクタンク業界に入ったところ、それはそれは苦勞の連続。知らない理論に知らない言葉。とにかく恥をかいてなんぼのもの。それでも時は過ぎていく。80年代末のバブル期から失われた十年を経て地方創生の時代へ。多様な調査経験と運も味方に、ついにベテラン研究員へと思ったら、今また図書館の館長へ。土木出身の経済調査マンがみてきた九州の姿を面白く解説します。